

市報むさしのデジタルブック 配信スタート

月2回発行の「市報むさし」では、より多くの皆さんに市の情報をお届けするため、多言語に対応したデジタルブック(電子書籍)の配信を開始しています。

在住外国人や来街者支援の一環として、9言語に対応した市報むさしのデジタルブックを4月15日から配信しています。都内では、品川区、目黒区に続いて3例目(多摩地域では初)となる取り組みです。無料のビューア

「Catalog Pocket(カタログポケット)」でスマートフォンやタブレットなどから簡単に閲覧できますので、ぜひご利用ください。

あらかじめ希望の言語を設定した上で、
読みたい記事をクリックすると
指定言語がポップアップで表示されます



トップページイメージ(ブラウザ版)



誌面イメージ(ブラウザ版)

とっても見やすい!



ショータ

(ルーマニアホストタウン
キャラクター)

武蔵野市は、東京2020
オリンピック・パラリン
ピックにおけるルーマニ
アのホストタウンに登録
されています。



このアイコンが
目印です



アプリ版もブラウザ版も
こちらからご覧いただけます

※市報の抜粋内容を英語翻訳した冊子「MusashinoDigest」(むさしのダイジェスト)は3月号をもって終了しました。

デジタルブックの特徴

多言語に対応

9言語(日本語・英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語)で読むことができます。

読みやすい文字で

本文をタップすると、文字が大きく表示されます。また、見やすく読み間違えにくい「UD(ユニバーサルデザイン)書体」を使用しています。

アプリ版と ブラウザ版

「カタログポケット」にはアプリ版とブラウザ版があります。アプリ版はスマートフォンとタブレット、ブラウザ版はスマートフォンとタブレットおよびパソコンのブラウザで閲覧できます。

プッシュ通知で お知らせ

市報むさしのを「マイコンテンツに追加」と、発行日にプッシュ通知(アプリからの自動的なお知らせ)で配信をお知らせします。